



～青き稜線～

わくわくフェスティバル

6月8日(木)に、体育祭に変わる新機軸である「わくわくフェスティバル」を開催しました。勇気凛々～それゆけ阿賀高～」のスローガンのもと、今年度から球技大会との兼ね合い、熱中症対策、少人数でコンパクトな大会運営を企図して、観客を入れずに校内の生徒だけで体育館で行いました。生徒会を中心に生徒たちが機能的に活躍して大成功となりました。特に、今年は頭髪服装ルールを遵守した規律ある生徒の行動が印象的。これが成功の大きな原動力となりました。そして、室内開催体育祭(わくふえす)のロールモデルとなり、継承する後輩たちへ強いメッセージとなりました。生徒会の諸君ありがとう！

午前は大縄跳び、借り人競争、シュート合戦、追いかけて玉入れ、午後からバレーボール、3色綱引き、軍団対抗リレーすべて順調に行われました。

○競技の部

1位 桃軍、 2位 赤軍、 3位 青軍

○総合の部

1位 桃軍、 2位 赤軍、 3位 青軍

上記の結果となりました。おつれさまでした！



<ステージ上の本部>



<1年パフォーマンス>



<2年パフォーマンス>



<3年パフォーマンス>



<閉会式・表彰式>



<1年パネル>



<2年パネル>



<3年パネル>



<全員集合>

3年生面接ポイント講座

6月20日(火)総合的な探究の時間で3年生はキッズから講師を派遣していただいて面接ポイント講座を設定しました。人の第一印象は5秒ほどで決まるといわれ、外見は大切。就職面接では、清潔感、身だしなみマナーが守られているか、という点がポイント。ぼさぼさの髪、シャツのシミやシワ。それだけで印象はマイナスになります。次に重要なのは「話し方」。落ち着いて、大きな声でゆっくりと発言するように心がけること。また、言葉遣いにも注意が必要だと学びました。

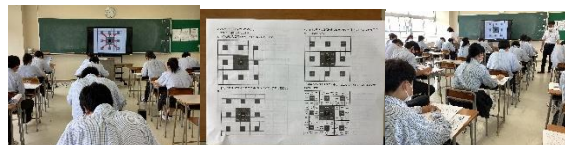


<面接のポイント>

<所作を学びました>

1年セルフマネジメント講座

6月13日(火)に1年生向けにセルフマネジメント講座が開催されました。仏教の曼荼羅(マンダラ)に由来するものであり、マンダラとアートを組み合わせた造語で、そのマス目一つ一つに自分の考えを書き、アイデアをまとめながら、思考を深めていく自己開発の一方で、目標や達成すべき行動が明確になり、多数のアイデアや新しい発想が生まれ、効率的に目標を達成することが可能となり、大リーグ大谷選手も実践しているようです。



<真剣に取り組む生徒>

<曼荼羅チャート>

<説明資料>

1年生対象 保健講話

6月22日(木)1年生対象に、新発田地域振興局健康保健福祉環境部医薬予防課の狩野様からご講演をいただきました。将来の自分とパートナーのために体や心のバランスのととり方、守るべきいのちと自分の体とパートナーの心身への思いやりと配慮の重要性を学びました。



講義を聴き、ビデオで学習しながら生徒はパートナーへの配慮・思いやりの大切さについて学びました。